

# 守山まるごと活性化 議事要旨

作成日:平成28年12月5日

作成者:足立

会議名: 守山まるごと活性化まつりプロジェクト第20回 会議

日時:平成 29 年 8 月 9 日(水)

場所:吉身会館 小会議室

出席者:まつりプロジェクト推進員

出席者(行政):吉身会館 竹村館長、足立

## 議題

- ・ 吉身学区イベント・たからものマップ 周知と配布について(報告)
- ・ 吉身学区民のつどい 運営サポーターの募集について

## 会議要旨

### 内容

#### 吉身学区イベント・たからものマップ 周知と配布について(報告)

事務局から、マップを自治会を通して学区内世帯(平成29年8月1日時点)へ配布した点を報告。あわせて公共機関への配布先一覧(案)をもとに、公共機関や商業施設への配布先について検討した。

(委員) 商工観光課は観光関連の情報を求める人が訪問することの多い部署なので配布部数を増やしてはどうか。

(委員) 下之郷史跡公園は学区の著名な公共施設なので配布部数を増やしてはどうか。

(委員) 表に挙がっているもの以外の施設にも設置してはどうか。例えば、学区内の商店や料理屋など。

(委員) 馬路石邊神社にも配布してほしい。

(委員) 駅前総合案内所にも設置してはどうか。また、学区のみならず、市議会議員の皆さん全員に配ってはどうか。

委員の皆さまからいただいた意見を反映し、施設等に配付することで決定。

#### 吉身学区民のつどい 運営サポーターの募集について

募集チラシの内容、募集にかかるスケジュールを検討した。

(委員) 子どもの参加するブースは、子ども自身が住む自治会に限定してはどうか。

(委員) 申込書には子どもの名前の他に保護者の名前も記入してもらおうほうが良い。

(事務局) チラシは各小学校に配布してもらって、各自治会の子ども会役員にも併せて参加者を募ってもらうのはどうか。配りっぱなし、頼みっぱなしでは参加者が集まらないと思うので。

(委員) 子どもも模擬店で商品を買ったり、友達と遊んだりしたいと思うので、手伝いの時間は明確に決めたほうが良い。

(委員) 昨年度、模擬店の販売開始は11時からだった。そう考えると、手伝いの時間は12時まで、または商品が売切れるまで、とするのが妥当ではないか。

(委員) 手伝いの内容は、自治会の都合により異なると思う。準備に人手がほしい自治会や販売を手伝ってほしい自治会など。なので、手伝いの内容は各自治会に委ねるほうが自治会に合った方法で手伝ってもらえる。

(委員) 小学校でチラシを配布してもらう際、先生に事業内容を説明してもらう必要があるのではないかと。そうなれば台本を作る必要があると思うが。(直接話して依頼するほうが参加者は増える。)

(委員) 小学生に学校を介して依頼する場合、先に各自治会の子ども会へ依頼しておく必要があると思う。

(委員) 自治会によっては、自治会と子ども会が別組織となっているところもある。

(委員) 子ども会との協議が必要となれば、学区子ども会会長にこの会議に入ってもらえたらより具体的な内容を決めていけると思うのだが。

(委員) 申込方法が「会館へ直接申し込み」のみでは間口が狭いと思う。例えば、各小学校でも申込みが出来るよう工夫してはどうか。

(事務局) 会館へ電話で申し込みできるようにもしたら良いのでは。

(委員) 報酬については、200円分の金券(50円×4枚)として、これを昼食代に充ててもらったら良いと思う。

決定事項	
次回以降について	平成29年9月5日(火)午後7時30分から